

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	経済学部 経済学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 マンハイム大学 経済学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 9月 1日 ～ 2018年 6月 30日 出国日 2017年 7月 31日 最終帰国日 2018年 7月 26日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初にやろうとしていたことでも、達成できたことある一方で、できなかったことがありました。けれども、当初は考えもしなかったこと目標などが留学中に新たにでき、それらを達成したりすることができたので満足しています。そもそもやりたいことをかなり多く持っていたのですが、そのぐらいでちょうどいいと思います。留学中に達成できなかった目標や新たにできた目標があるのでそれらを達成できるように残りの大学生活を上手に利用したいです。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学力は出来る限り伸ばすことがやはり必要です。しかし、現地で生活を始めてから自分に必要な学習が見つかったりして、出発前にしていた勉強の中で、無駄とは言いませんがあまり効果がなかったと感じるものもありました。日本で留学に必要なすべての知識を身に着けることは不可能だと思うので、気張り過ぎた学習は必要ないかもしれません。

自身の専門科目をしっかりと勉強しておくことを強くおすすめします。マンハイム大学はレベルが高いうえ、優秀な学生がそろっているのです。授業の内容は高度です。入門レベルの授業はすべてドイツ語で行われています。よって、英語で行われる授業は大学院への進学を目指している学生向けの応用科目になっています。正規の学生は大学一年生からの授業の知識を積み重ねています。経済学はあらゆる分野が互いに結びついているので、どんな科目も

他の科目を学ぶうえで訳に立ちます。学習院大学で学んだことを忘れないようにしていく必要があると思いました。

日本や世界のあらゆる知識を身に着けておいた方がいいと思いました。特に日本においては、文化や歴史のみならず、政治や経済といった分野にも手をつけた方がいいです。他の国からの留学生は自国の政治や経済についてあたりまえのように知識を持っています。授業はもちろんのこと、食事やバーにいるときでさえ、そうした話題になることも珍しくありません。日本の状況について説明できないとカッコ悪い思いをします。また、世界情勢の知識がないと相手が何を言っているのかわかりません。私自身はあまり知識がなかったため、家に帰ったあとそのテーマについて調べたりしていました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

経済学の授業は、教授はスライド等を使って行われるレクチャー方式と実際に問題を解く問題演習が交互に行われます。一つの科目につき週に二コマあるのが普通です。問題演習で解くものが前回の講義の宿題になります。たまに宿題を提出するように言われ、最終成績の判断材料になります。ただ絶対というわけではなく、講義や教授によってまちまちです。

授業中は発言が求められたり、学生自ら手を挙げて発言します。いわゆる欧米系の授業スタイルです。間違ったことを言ったり初歩的な質問をしても誰も笑ったりせず、教授も丁寧に解説してくれます。授業内で理解するという点においてはかなり効果的だと思いました。

教授はドイツ人がメインですが、他の国籍の方も結構います。教授によっては聞きなれない発音で話すので少し大変かもしれません。

少々話がそれますが、マンハイム大学の経済学の授業は高度な数学を使います。数学が苦手な学生は慎重に授業を選ぶ必要があります。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

メインの校舎の他にも多くの校舎があります。学部によって使う校舎が分かれているので同じ学部内の授業ならば移動はそれほど大変ではありませんが、授業後すぐに次の授業が他の校舎である場合は急がなければなりません。

大学関連の施設も数多くあり充実していると言えます。一つの場所にかたまっているというわけではなく、市の中心地に点在していますが、そもそも中心地がそこまで大きくないうえ、トラムも走っているので不便ではありません。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生向けのドイツ語コース 週2,3? €15/半期

協定留学生向けのドイツ語コースでレベルも多数あります。MyUnima から登録するものです。

正規学生、留学生用のその他語学コース (英語の他多数) 週2 €60/半期

マンハイムに住んでいるなら誰でも受講できます。正規の学生がスキルアップとして受講していることが多いですが留学生でも参加できます。私も英語のコースを受講しましたが、かなりハイレベルでした。(初級、中級あたりはドイツ語のスキルが必要 B1, 2以上)

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

バディプログラムがあるので、自分の担当のバディが現地に到着してからの事務手続きを手伝ってくれます。

大学の授業関連について疑問がある場合は、とりあえずインターナショナルオフィスに行けば相談に乗ってくれます。学生課との仲介をしてくれたりするので留学生には心強い存在です。また、メールでも対応してくれます。

大学の学生団体が多くのイベントを開催してくれます。毎週2,3個はなんかしらあります。イベントの種類もたくさんあり、かなり充実しています。いろいろ新しい経験ができる他、友達を作るのに非常に役立ちました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

一部雰囲気の良いところがあると聞いていましたが、特に危険だとは感じませんでした。女子生徒なら夜間の外出は絶対に控えるべきでしょうが、男性なら一人でふらふらしても問題ないぐらい治安は良かったです。

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 €304 、(日本円) 約 40,000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他（ トラム ）、計 25 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

すこし中心地から離れていたのが大学までは時間がかかりますが、その分夜間は静かでした。すぐ近くにバス停やトラムの駅、スーパーやケバブ屋、ピザ屋があったので便利な環境で生活しやすかったです。

4. 費用について

(1) 学 費

（現地通貨）約 _____、（日本円）約 _____ 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他（ _____ ）、（日本円）約 160,000 円

(3) 生活費

（現地通貨）月額・年額 約 €600 _____、（日本円）約 78,000 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他（ 送金 ）

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

ブロッコアカウントを開くには大金が必要なので送金が良いと思います。銀行のキャッシュカードにダイレクトデビットをつけると便利です。また、カードでの支払いのみの場合があったり、旅行先の予約に使ったり、現金がなくなったりするときもあるのでクレジットカードは必須だと思いました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

航空券 16 万

保険 年間 10 万

残りを生活費 4 万

5. 保険について

(1) 保険会社名

AOK

(2) 保険料

月 8,000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

歯を含むすべての治療 キャッシュレス すべての病院で使える ヨーロッパ内でも使える

(4) 感想、良かった点・悪かった点

私は現地でラグビーをしていたのでとても助かりました。日本の保険会社のものはコンタクトスポーツや格闘技によるケガは保険対象外になってしまうからです。また、ヨーロッパ内で保険が効くためパリに遠征に行った際にも安心してプレーすることができました。保険料は高いですが、保障内容は充実しており私にはピッタリでした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

薬 スポーツできる服やシューズ 電子機器類

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

参考書や教科書 (持って行き過ぎた) 文房具や生活雑貨 (現地で手に入る)

(4) 持って行けば良かったと思う物

箸 使い捨てマスク (これらはドイツでは売っていない)

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業→自習→ラグビーの練習またはジムでのトレーニング→自習または大学のイベントへの参加または友人と外食、バー

(2) 週末

自習及びリラックス (寝る、友人と遊ぶ)

または

旅行

8. 後輩へのアドバイス等

恥をかくことを恐れずにフットワークを軽くしていろいろなことを試してみると良いと思います。いままでやったことのないことに挑戦したり、普段やらないことをやってみるには絶好に機会です。その他のアドバイスは上記を参照してください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。